

電とソーラーパネルです。南アは世界で最も太陽光密度が高く、日本、ドイツの3-4倍はあります。ソーラーの稼働率が3-4倍高いことになり、電力(水素、アンモニア)価格も1/3以下になるでしょう。液体燃料の輸送費はさほど高くなく、グリーンアンモニアを調達する有力候補です。南ア自身もそれを自覚しており、2003年から水素ロードマップを作っています。私たちはSIP時代から南アとの交流を図っており、最近拠点の1つであるノースウェスト大学と新しいグリーンアンモニア技術共同研究を始めました。

日本の拠点は沼津(高専)にあり、東大、名大、東工大などの司令塔となっています。外務省JICA、文科省JSTが支援機関であり、相手側南ア科学技術省とも連携しながら進めています。日本のグループはSIPエネルギーキャリア(CO²フリーアンモニアチーム)の経験もあり、更に新しい

技術開発に挑戦を始めました。最終的にノースウェスト大学内にアンモニア合成ベンチプラントを立ち上げる予定です。南アへの出張、在日本大使館からの訪問(沼津高専および沼津中央高校)、南ア科学技術省高級官僚の沼津高専への訪問もありました。

南アの最密太陽光地帯はナムビア砂漠一帯です。雨が少なく、大西洋からの空気に塵がなく太陽光をささげりません。この地方政府と協定を結びサッカー場1万4千個分の土地を確保して、投資を呼び込んでいます。ウクライナ危機を肌で感じたEU(ドイツ、オランダ、イタリア)が11月末の国際水素サミットへ大勢の使節団を投入してきました。日本も本気モードで産官学使節団を送り、国際グリーン水素の世界で存在感を出しつつあります。

ご支援とご理解のほどよろしくお祈りします。



静岡第2グループIM報告

第2999例会 2023.2.18

テーマ「米山梅吉翁の想い～ロータリーの聖地～」
会場 フォレストヒルズ
ホストクラブ 富士宮ロータリークラブ

幹事 内野 聡

2月18日(土)、年に1回静岡第2グループの全12クラブが集まって開催されるIM(インターシティミーティング)に菊地会長と参加をいたしました。本来であれば全会員出席の処、今般の新型コロナウイルス状況を鑑み、佐野和義ガバナー補佐から規模を縮小しての開催通知があり、クラブからの出席者は会長幹事のみ、会場をフォレストヒルズに変更して執行われました。

式典では佐野ガバナー補佐による開会点鐘、ホストクラブである富士宮RCの黒松健太郎IM実行委員長から開会、望月浩幸会長から歓迎の言葉をいただき、物故会員への黙祷、新会員紹介がおこなわれ、浅原ガバナー、勝又洋次期ガバナー補佐、次期IMホストクラブ勝又誠御殿場RC会長からそれぞれご挨拶をいただきました。

続く本会議では佐野ガバナー補佐からのIM趣旨説明に続き、米山梅吉記念館DVD視聴の後、上野米山記念奨学生学友会理事から奨学生、学友会と記念館との関わり、松村米山梅吉記念館理事長から記念館の現状と

今後についての講演をいただきました。

佐野ガバナー補佐からの謝辞の後、米山梅吉記念館への寄付目録50万円の贈呈、佐野ガバナー補佐と12RC会長から記念館に対するメッセージの読上げが行われました。メッセージ内容は米山梅吉記念館に対して永続的な存続を願い、下記4点を決意するとの内容でした。

- I 積極的な寄付活動を実践する
- II 春季・秋季例祭に積極的に参加する
- III 毎年記念館にて移動例会を行い新会員に対し理解を深める
- IV 地区他クラブに記念館への理解を深めるため、記念館での移動例会を薦める

